#### まちづくりネットワーキングえひめ

# 一 たうん

VOL49



緑化センターのバナナ

#### 特パートケーシップのほうづくり集

- 一女性グループの活動から一
  - ●出来る人が出来ることを
  - ●うるおいを花に求めて
  - ●おいしい広田村はいかがですか
  - ●念ずれば花ひらく
  - ●三間町大好き!!

幻の鮪網漁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(特) 『パートナーシップのまちづくり』 (集)		
出来る人が出来ることを 削 町/中 美幸 2		
うるおいを花に求めて川内町/山本アツ子4		
おいしい広田村はいかがですか広田村/成田タチ子6		
念 ず れ ば 花 ひ ら <新居浜市/原 綾子8		
三 間 町 大 好 き !!三間町/河野美智子10		
論談―まちづくり―		
31世紀をめざすモデル村		
エコ・ヴィレッジ「八ッ杉千年の森」福井県今立町長/若泉 征三12		
キラリ光るまち		
みらさか夢まつり		
広島県三良坂町みらさか夢まつり一座 座長/中田 正俊14		
リレーでちょっトーク		
ふるさとを見つめ直す		
スポーツから得たこと久 万 町/窪田 恵子		
今日まで、そして明日から········宇 和 島 市 役 所/藤田 良···········18		
未知との遭遇 in まちセン		
まちセンで見つけた第三の人生野村町シルク博物館/酒井 康次2		
風おこしのちかい		
地域舞台の裏の裏近藤 誠24		
Information		
媛のくにフラッシュ〈新居浜市·砥部町·内子町·玉川町·西海町·朝倉村〉26 愛媛県から"組織改正"のお知らせ・「わぃわぃわいど」の発行について29		
るプれグま号 るががに はまこが てのり住 今 特		
るプれグま号 るががに はまこが てのり住 今 特 こののルちにそ。6 パ要まなちと主そま活活民今 号 とまれてではまな発動が日		
るプれグま号 るががに はまこが てのり住 今号 なのルガ ちにまないで 体もち発 の まま 地 一 で は まなが な が を が な が を が な が を が な が を が な が を が な が を が な が を が な が を が な が を が な が を か た と ち 域 プ く き で か と が な が を か た か な が を か た か な が を か た か な が を か た か な が を か た か な が を か た か な が を か た か な が を か た か な が を か た か な か た か な か た か な か た か な か た か た		
今号のテース 今号のテース で、まちである。 で、まちがどので、はないでくりがある。 で、まちがどので、ないでくりがある。 で、まちがどので、ないでものである。 で、まちがどのである。 がら、上さるので、ないでものである。 進しないがくりがある。 進したががある。 を性グストラがにはないである。 をしたががある。 はないでものである。 はないでものである。 はないでもののである。 したもののである。 したもののである。 したもののである。 したもののである。 とともががある。 とともががある。 したもののである。 はないでものである。 したものである。 したものである。 したりのでなる。 したりのでなる。 したりのでな。 したりのでなる。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりのでな。 したりの		
まながらいた。 のループのまながだのは、各本で、は、大きで、は、大きで、は、大きで、は、大きで、は、大きで、は、大きで、は、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ない、ないが、ない。ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、な		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		
集"パートナーシップのまちづくり。 号のテーマ 女性グループの活動から 女性グループの活動から 女性グループの活動から 今日、各市町村・地域において、 今日、各市町村・地域において、 活動が展開されている。特に女性 活発な参画した個性豊かなまちづく とであるとすれば、本当の意味の ちづくりが始まったと言えるので ないだろうか。 をいだろうか。 をであるとすれば、本当の意味の ちづくりは、住民と行政が互い まちづくりし、会号では、住民と行政 がートナーとして連携・協調しな ら、推進していくことが重要であ ら、推進していくことが重要であ の地域の現場からパートナーシップの まちづくりのあり方を考えてみ こととします。 (編集子 大谷)		
集 "パートナ 女性グルー 女性グルー マーマ 女性グルー マーマ 女性グルー オートナ まちが 経 前 に 別 を で あると すれ た で あると すれ に 引き続き 「ぱ に し ことと します。		



緑化センターのバナナ

人間ばかりか動物も 大好物のバナナ。一昔 と違いバナナは安価で、 手頃な栄養食。だが成 手頃な栄養食。だが成 手頃な栄養食。だが成 を過程は知られてない。 に成り切っている。房 に成り根察してください。

#### アングル

#### 代表理事会長 野 次 郎

#### 図の鮪問漁

あり、 魚付林が海を覆うまでに茂ってい の回游してくるのを待った。 人々は『麦稈鯢』と呼んで、 の群がやって来た。ちょうど五・ た。その木陰を慕うように毎年鮪 その頃海岸には、砂浜や松林が 麦が熟れる頃であったから、 椎や姥女樫などのみごとな

彼等

に浮き上がる状態 姿を見せる。(みづになり赤みに そこから滝鼻、波切、大内、安米・ なるとは、鮪の群が密集して海面 の網代でみづになり赤みになって に去ってゆく。 と浦々をゆっくりと回游して湾外 浦の湾口、銭坪鼻につき当たり、 て、沖合に姿を見せると先づ三 回游の経路はたいてい決まって その間、所どころ

常に定位置に居なければならない。 まわせるようにするため、 ら流されてしまう。 網舟を仕立てて網代に漕ぎ出す。 ある熟練した魚見が集落の後に立 油断をすると風や潮でその位置か つ小高い岡に上り、ほかの男達は 鮪が何時やって来ても直ぐ置き 沖合に魚群が見えると、 魚群を待つ間 網舟は 眼力の

昭和二十年に終った太平洋戦争

宇和島湾の西側最奥部の『袋

昭和四十年の初め頃ま

ど真南の方角に庄屋々敷があり、 殊に九兵衛南風 艫艪押と背向押とは、休みなく艪とはるます。せがえまし く日は大変であった。 いたのでそう呼んでいた。)の吹 庄屋は代々田中九兵衛を名乗って を漕ぎ続けていなければならない (網舟からちょう

は凄まじいばかりである。 魚が水を打ち、 ラム、大人の背丈を越える巨大な を入れる。ー引揚げである。恐ら ぐあいよく鮪が袋網に人ると落と たたく激しい音と、飛び散る水し あるまい。大きいものは百キログ の引揚げの光景ほど勇壮なものは く世界の漁業の中でも、この鮪網 し(太い麻糸で編んだ丈夫な漁網) 立ち泳ぎで足をバダつかせて網の 子ども達は、 機である。魚見は采を高く振り脳 前から鮪が逃げないように狩る。 !!」と叫ぶ。両舟の舫いが解かれ、 天から絞り出すような声で「置け はじめるといよいよ網を人れる好 なって浮きあがり、ぐるぐる回り 一艘左右に分れて鮪群を置き廻す。 鮪が網代にさしかかり、 真裸で海に飛び込み おどり跳ねるさま 海面を みづに

にとびこみ、寄り添うようにして 鮪がとれた時は、私達子どもにも ……まさに鮪と人との格闘である。 その鮪を抱え舷に持っていく。 舷に引き上げる。 ぶきの中で、一人は鳶口を振るい また一人がそれを掛矢で叩く。 一人は網の中

護岸となってしまった。 今、私達がたまに口にできるマ

て、のっぺらぼうのコンクリート いた魚付林も、すっかりなくなっ 水の上に涼しそうな影を落として を捌いた松林も砂浜も今はない。 肉を切って分けてくれた。その鮪

思うが、僅か三十年の間に、この のは、何であったろうか。 に鮪をみる日はかえって来ないと ような大きな変化をもたらしたも の鮪漁は終っている。 十五日、 冷凍鮪である。昭和四十三年八月 印度洋、 グロは、遠く南太平洋、 地中海などで獲ってくる 百七十五本の漁獲で三浦 再びわが海 大西洋、

に響いてならない。 ているこの言葉が、 の共生』…われ人ともに強く唱え "自然との共生""生きものと 何がなし空疎

鮪が漁れていたのをご存知であ ろうか。 の底』のような三浦の海で本物の

D. 311

# パートナーシップのまちづくり

幸

#### 「出来る人が 出来ることを

美 ф

塾長

塾生で発足致しました。県及び町 ことを目的として、当初十五名の 化の波を起こす人材の育成を図る 会を提供し、地域に新しい生活文 弓削町を支える中堅女性に学習機 ゆげ女性塾」は、 平成五年に

## 弓削町)

しております。

## ◎環境問題

## 一、ゴミの減量化

を依頼され、 弓削町役場からゴミ減量化 推進に当たってのモニター ては、開塾と同時ぐらいに 「ゴミの減量化」 一年間、生ゴミのボ につい

我々女性塾のメンバーが、 普及活動を始めました。この時、 業として補助制度を設け町内への 用石けんについて環境維持改善事 担して使用し、データーをとりま で説明会のアドバイザーとしての コンポスト、洗濯用石けんと台所 ではボカシ和えのタッパー容器、 した。このデーターを基に弓削町 焼却炉、石けん等をメンバーで分 カシ和え、 コンポスト、三種類の 各地区

の助成期間中は、町の歴史から身

十六%の家庭で使用して下さって は四千袋販売し、現在では町内の 少しでも安く提供できるように、 シ和え」のボカシも町内の人に、 りません。これと平行して「ボカ 場で高速ボカシ製造機を導入して 負担でした。そんな折り弓削町役 役目を果たしたのは言うまでもあ 頂き、今までボカシ作りにかかっ 土曜日のボカシ作りは、 います。注文が多かったので毎週 メンバーで作っております。昨年 かなりの



リサイクルフェア段ボールアート

う気持ちが強く、自主活動を展開

全員がそのまま続けたいとい

ことしきりでした。この期間終了 た勉強会があり、考えさせられる 近なゴミ問題まで多方面にわたっ

> 近な環境問題を解決しよう」と、 した。そして、「女性にとって身 な気がします。 メンバーの意志統一ができたよう た時間と労力は大幅に削減されま

## 二、段ボールアート

置き、おひなさん、お盆、ミニ箪笥 えて行っています。町外からの参 ということで、広く一般の方も交 メンバーだけでは、 講座を開催しております。また、 生をお迎えして、段ボールアート 出会いました。これは皆がやって クルフェアで、段ボールアートに をやっているうちに、あるリサイ こで、できあがった作品を町展や ようになり、これからが楽しみで イスとだんだん大きな物が作れる 加者もいます。最初六角箱から箸 みたいということで、 ましたら大変好評でした。これら 産業祭りで展示、講習等、 ンガーの再利用を行いました。 ン立て等の作成やクリーニングハ ルです。牛乳パックで、イス、ペ 次にとりかかったのがリサイク もったいない 毎月一回先 実施し

す。

## 三、石けんづくり

改善策を練っております。 の臭いが気になるとのことでした を図りましたが、一部の方から油 るとともに、この機械の利用促進 していただきました。夏にわが町 うちに、弓削町役場で機械を購入 もつお母さんから、ズック、くつ けんも作っております。子どもを で、皆様に無料で石けんを配布す で開催されます「ふるさと夜市」 しています。この活動をしている って差し上げたり、お分けしたり 下等の汚れを落とすには、これが 一番ということでイベント前に作 これらの合間をぬって廃食油 メーカーとも色々相談して

## ◎ボランティア

生が弓削小学校の校歌を作詞作曲場の清掃活動を夏の始めと終わり場の清掃活動を夏の始めと終わりまく担ぎ出されます。昨年は皆は実施したり、イベントの応援には実施したり、イベントの応援には実施したり、イベントの応援に

能界の舞台裏も少々経験させて頂 五十周年の記念事業として、本居 方々のお世話係を仰せつかり、芸 たしました。この時もお招きした たしました。この時もお招きした

## ◎イベント

きました。

私達の住んでいる弓削島は、瀬



コンサート終了後パーティー本居長世記念事業

で、 一の小島で文化が入りにくく、文 ではればなかなか求めることがで をません。渡ることのできないお きません。渡ることのできないお をません。渡ることのできないお をません。渡ることのできないお 大ピアニストをお招きして、ミニ コンサート(五十名)を開きまし た。これが大変好評で、もっと多 たの人に聞いてもらおうと、今年 は八月にコンサートを開くべく準 は八月にコンサートを開くべく準

#### ◎民俗誌

こうとしております。 伝説、 員そろっての調査は、 調査」という形で二年ぐらい 献が残っておりません。そこ 祖の生活を明らかにされた文 ぱなものがありますが、古く 文献として「町誌」というりっ かけて、 から伝承されてきた、言語 また、弓削町には歴史的な お元気な間に「聞き書き 今まだ明治生まれの方々 習俗等、 民俗誌を編纂してい 我々庶民の先 塾生全 月一回

各地区をまわって行っております。とがんばっております。どのようをものができ上がるか、見当もつなものができ上がるか、見当もつなものができ上がるか、見当もつなものができ上がるか、見当もつないができ上がるか、見がないます。とがんばっております。とがんばっております。とがんばっております。といればと、考えております。

### ◎おわりに

ていきたいと思っております。 と協力しながら、細く長く活動 今後もできる人が、できることを でも負けてはいられません。お互 の上お年寄りをかかえてとなると も現在は十七名と、活動の輪も広 しながら、気負うことなく、行政 たりでストレスを ふっとばし、 いを励まし合ったり、 活動にいろいろ制約が加わります。 がりつつあります。 ます。最初十五名だったメンバー から次へとしたいことが、出てき のほとんどが主婦で職業人、そ 以上のように我々の塾では、次 しかしメンバ 助言しあっ

# 女性グループの活動から

#### るおいを 花に求めて」

えず、

ただ息をのみ、

暫し



という声に全員賛同しまし きましょうよ。 「川内の婦人会は、 花で輝

## バーベナ・テネラの輪

を頼みました。ちょうど平成元年 早速、 る」というバーベナ・テネラを町 強く」「さし芽でどんどん増やせ であり」「花期が長く」「夏日にも づくりの先進地である徳島県阿波 ブをパートナーとして選びました。 内へ広めようと決定しました。 当時の会長は、行政と老人クラ への視察を申し出て、その助成 五月の婦人会役員会で「宿根草 役場へ走り、花によるまち

励まされました。

そして、数日後の婦人会役員町

町が輝く」と講師の若松先生に、

会の記念講演で、「女が輝くとき

平成元年四月、

川内町婦人会総

女が輝くとき、

まちが輝く

開の桜の花の美しさを楽しんでい 内めぐりの時、車窓から見える満

桜の

に咲き乱れ、その調和が何とも言 花の下に菜の花が盛り上がるよう ました。ある地区に来た時、

> からの助成が頂けるという事で、 りました。 りか、花苗も購入できる事になり 地区」の指定を受けており県や町 人会の二十七名で阿波町視察とな ました。老人クラブ、町職員、 は愛媛県の「花づくり推進モデル マイクロバスを出して下さるばか 婦

ぱいに満ちあふれてきました。 花づくりに対する意欲が、体い な、 魅了されました。特にフラワー 公園等、実に見事に広がるバーベ の中のお城に足を踏み入れたよう 彩豊かに広がり、まるでおとぎ話 ナ・テネラに、私たちはすっかり ークでは、バーベナ・テ ネラが色 河川の土手・田の畦・空き地・ そんなすばらしさに感激し、

## ふれあい花の会誕生

を行ないました。もちろん、町か で、「ふれあい花の会」の発会式 老人クラブと婦人会合せて六十名 持ち寄って、平成元年七月七日、 庭でさし芽して増やし、その苗を 阿波町で購入した苗を役員が家

> 苗を購入して頂き、 植えていきました。 の庭を除草して、ていねいに苗を 多い役場・福祉館・健康センター らも激励に来て下さいました。 八時三十分より植栽を行いまし 役場で、 双海町から五千本の 人の集まりの

でした。 次々にテーブルスピーチが飛び交 植栽した実践活動の発表を行いま した。続いて手づくりの会食では その後、一堂に会し、各地域 町内を花で飾る事に意欲満々



花いっぱいフォーラム

## 地域への広がり

て作業を始めました。
一や地元の方も集合。花園を夢み発案で、ふれあい花の会のメンバを植えたい」と言う支部長さんのをがなが、ないがでいるので、花帯が雑草に埋もれているので、花帯が雑草に埋もれているので、花

炎天下での除草、苗植えなど大変な作業の連続でした。そんな時、道路沿いのあちら、こちらの工場から冷たい麦茶やジュース、手袋から冷たい麦茶やジュース、手袋などをいただき、心温まる思いをしました。

また、路側帯だけでなく工場内でも、社員の方々が自らバーベナ・テネラを植栽する姿も見られました。各地域では、集会所や畑の隅、た。各地域では、集会所や畑の隅、た。格地域では、集会所や畑の隅、から、町内にバーベナ・テネーが根付いて行きました。

中学校には、生徒たちが名付けた工万本、三万本を育て、小学校や中学校、バス停、お寺の境内へと中学校、バス停、お寺の境内へと中学校のが立ータンで彩られ、

正かりませた。 本がくりを四年、五年と継続す が、感謝の連続でした。今思えば り、感謝の連続でした。今思えば り、感謝の連続でした。今思えば り、感謝の連続でした。今思えば が、でないっぱいの輪が広が が、がっかり私たちの が、がったっていました。

きましたね」「毎日楽しみに見せ「ご苦労さん」「今年も美しく咲るという事は苦しさも伴いますが、

路側帯への植栽

て貰っています」などのあたたかで貰っています。また、い声に支えられています。また、下を向いて作業している時に「されるがようなら」と声をかけてくれるかれ、「花づくりは子どもたちにも勇気づけられ、「花づくりは子どもたかいます」などのあたたか

## 花の会ボランティア

の中でも比較的時間にゆとりのあ平成四年から、ふれあい花の会

以上を育てる事が出来るよう トも春と秋、それぞれ一万株 員も二十一名になり、苗ポッ すぐなくなります。今では会 す。時々中央公民館の玄関に 要に応じ持ち帰ってもらいま 教育課長の指導の下、 る十名が集まり、川内町社会 になりました。 い」の紙が貼られると花苗は 公民館、学校、施設などへ必 しています。育った苗は地区 って行こうと、楽しい汗を流 々の花を種から育て町内へ配 「どなたでもお持ち帰り下さ 四季折

# 出来る時に、出来る人が

花が咲いた 花が咲いた 花が咲いた 花が咲いて 見ない人はいない 花が咲いて 怒る人はいない す。「出来る時に、出来る人が、す。「出来る時に、出来る人が、 は来る事をしよう」を合言葉にし と手づくりの花園を眺めています。と手づくりの花園を眺めています。

今年の花いっぱいフォーラムは 今年の花いっぱいフォーラムは 一への植栽の後、長年の活動が認 められた平成八年度「みどりの愛 められた平成八年度「みどりの愛 のでである。 ではいてはいフォーラムは

になることを夢見ています。 ふれあいの心がいっぱいの川内町 よって、やさしさや、おもいやり、

と思っています。
と思っています。
な町になるよう努力していきたいかでしょう。私たちは今後とも花かでしょう。私たちは今後とも花かでしょう。私たちは今後とも花かでしょう。

# 女性グループの活動から

#### 「おいしい広田村は いかがですか」

広田村生活実践委員会

的生活美球 会長 成田



で、突然起こったできごと に、戸惑いの日々でした。 そこで先ず、三名以上の グループをつくって活動し ていこうということになり ました。五名のグループあ

五のグループを結成しました。つ五のグループを結成しました。そして、各グループが取り組みを開始て、各グループが取り組みを開始て、各グループがおした目的をもって、各グループがおしました。つ五のグループを結成しました。つ

設立されました。

最初は、

・広田村に、このような建物をど

ンターとして、「ふるさと館」が

昭和六十二年に、広田村物産セ

生活実践委員会の結成

様々でしたが、あわせて十

連続でした。など様々でしたが、初めは失敗のなど様々でしたが、初めは失敗のがだし、お餅、味噌、栗の渋皮煮煎餅、クッキー、ケーキ、うど

と、人口千四百人足らずのこの村

所」とは何だろう。

国

県、村からの贈り物?

うするのだろう。

村おこしの為、「女性が集う場

そこで、いろいろな人に助言をもらい、工夫を重ねました。こうなると女の意地でした。笑う人もいたように思えましたが、仲間意識は高まり、励ましあうことによって頑張れたのではないかと思いって頑張れたのではないかと思い

います。そして、広田村のPRの発研究を進めていきたいと考えてと林産物を加工した特産品の開



柏餅づくり

と思っています。一助となるよう頑張っていきたい

### 二、元気の素

所となっています。にとって、出会い、ふれあいの場ふるさと館は、過疎の村の主婦

現在、私たち生活実践委員会は、十一グループ四十三名で活動しています。普段は、農業を主としてなんらかの仕事をしているので、製品を造る為に集まるのは夜間が中心になっています。

また、私の参加するグループのまた、私の参加するグループの表ですが、若い人たちに負けない気持ちで頑張っています。しかし、気持ちで頑張っています。しかし、気持ちで頑張っています。そんそうになることもあります。そんな時、お客さんとの出会いと会話が、元気をもたらしてくれるのです。

人と人のつながりでお便りを下さら、猫一匹見かけなかったのに、ら、猫一匹見かけなかったのに、



と思います。となり頑張っていられるのだが多くなりました。また、県外かが多くなりました。また、県外から手紙をいただくこともあります。また、県外かが多くなりました。また、県外かが多くなりました。また、県外か

## 三、イベントをとおして

イベントになると、前日から各 味わえるイベントを行っています。 「ほたるまつり」といった自然を ふるさと館では、「山菜まつり」

> どをつくります。 焼きそば、いなりずし、うどんな がきそば、いなりずし、うどんな がある員が集まり協力して、柏餅、 との会員が集まり協力して、柏餅、

会が増えました。今では、毎年のもちろん村外の方々とふれあう機

人と人とのつないです。

思います。人と人とのつなんと人とのつな

## 四、おわりに

で で 大とささやきながら輝く星を見上がら輝く星を見上がら輝く星を見上がらからいいし、 がら輝く星を見上がらからいいし、 のどが渇いたなら かだい観音水を飲い、広田村は、秋い、広田村は、秋

立ち寄って私たちに声を掛けて下自然と向き合うと素直になれたり、優しくなれたり、けっこう気り、優しくなれた自然がいっぱいの人情と恵まれた自然がいっぱいの人情と恵まれた自然が自慢です。

広田村の特産品

、毎年の立ち寄って私たちに声を掛けて下



第九回ほたるまつり

# OVAEL DE LA COMPANIE DE LA COMPANIE

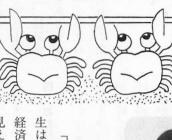
さい。

す。出会えることを楽しみにしていま出会えることを楽しみにしていま、

# パートナーシップのまちづくり

#### 「念ずれば 花ひらく」

綾



## 食品公害勉強会

生は、 見え始めた頃でした。 経済の二桁成長にかげりが 食品公害勉強会」の誕 昭和四十六年です。

当時の子ども達の多くは、

でもありました。 不安材料が、数多く目につく時代 注意深く見れば「食」についての 校給食集団中毒事件」などもあり、 HC汚染問題や、うどんによる「学 がおやつでした。また、牛乳のB AF2入り魚肉ソーセージ

か」と、落着かない思いで一杯に も達の体は本当に大丈夫だろう それらに気付いたとき、「子ど

わり」と改名しました。

グループ活動は前身である「食

すようにと願って、「エコーひま がエコーし、市の内外に拡がりま

今年、四月一日にオープンしまし た。これを機に、グループの活動

点である「リサイクルハウス」 グループひまわりの、待望の拠

はじめに

そして、同じ思いを持つ、 幼稚

> 働きかけによるものです。 修等の開始は、食品公害勉強会の リー」「声の図書室」の設置 を挙げることができました。 F2不使用のニガリ豆腐の製造 粋さは、多方面のパートナーシッ ンの追放」「粉石けんの共同購入」 プを喚起して、「丸大豆使用、 が「食品公害勉強会」でした。 「学校給食用パンの流動パラフィ 「消費生活相談の受付」等の成果 また、当市の「テープライブラ 若さと、社会に対する無知と純 研

## グループひまわり

プひまわり」として、 勉強会」は、昭和五十四年、「グルー ルなテーマを掲げて、「食品公害 守ろう!」の、 「かけがえのない、命と地球を いささかグローバ 再出発しま

現在に至っています。 るあらゆる行事に積極的に参加 消費生活展をはじめ、 推進協議会」の、 一年後、当市の「消費生活改善 メンバーになり、 市が主催す

> 年の四月からてんぷら廃油を原料 ルギーを注ぎました。そして次第 実践、 できる石けん作り」です。 す。そこで、始めたのが「家庭で ず、家庭からも、料理の講習会か にした、ゼリー状の「みかん石け を濃厚に打ち出しはじめました。 然(地球)の共生を目指して、学習、 を大切にし、人間同士、人間と自 をしても、 トを取ったり、 ん作り」の普及を開始しました。 に、情報発信の場としての色合い その第一歩として、昭和五十九 てんぷら油についてのアンケー 「一人の百歩より、百人の一歩」 多量のてんぷら廃油が出ま 啓蒙活動にグループのエネ なかなか効果がみられ 油の使い切り運動

見えました。それも東の間、六十 五十名にも押し上げ、順風満帆に としての強みは、 より、国外にも飛びました。 加熱式短時間法(約二時間)によ るものです。 すぐれた洗浄力と、マルチ洗剤 沼津方式より遅れること約一年。 資料は、 会員を一斉に百 国内はもと

園児の母親達が集まり発足したの

年で二十六年になります。 品公害勉強会」から通算して、

8

を迎えました。 た。グループは、まさに冬の時代た。グループは、まさに冬の時代を引きなりました。

## 新居浜ウィメンズプラザ

企業の施設等を使っての各種展示。 ループにもやっと、春到来です。 プラザは、石けん作りも〇Kです。 グループは月間七回の例会と、二 が月に一度の多目的ホールでのイ がント。ウィメンズ展示場は勿論、 ベント。ウィメンズ展示場は方論、



リサイクル展示室での講演会

ンク等も行ないました。
テリトリーを増やしていきました。
テリトリーを増やしていきました。

### **エコーひまわり** リサイクルハウス

いま来ているのです。 量消費、便利さ、快適さのつけが 上の大変換を迫られています。大 ルの大変換を迫られています。大

からは、月一万円はどうだろう。年長の会員から、「貸していた家年長の会員から、「貸していた家

リサイクルハウス「エコーひまわり」



一年やってみて、一万円の家賃が 出せんようなら、ほんと、やめないかん!」と、話しがありました。 リサイクルハウスは、新居浜市 の上部、北内町にあります。二階 をての建物で、電燈やじゅうたん なったんましたが、ファックスも、コピーもありません。

りをしています。を作り、みかん石けんやぼかし作を作り、みかん石けんやぼかし作がコージ用の屋根があります。

日十七・八名でした。四月、五月の平均来館者数は、一百二十名の来館者がありましたが、三月二十八日のオープン当日は、

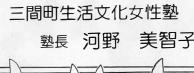
近くの来館者がありました。日も返上する程大盛況で、八百名形展は、マスコミ等のおかげで休

ます。

ことをモットーとしていてる――ことをモットーとしてい気の中で、生き方のヒントをつか気の中で、生き方のヒントをつかった。家庭的な雰囲

りますが…。 役目も一層の充実を図る必要があ 情報の収集、発信基地としての

それたことを考えています。 りですが、企業のパートナーシッ りですが、企業のパートナーシックですが、企業のパートナーシックですが、企業のパートナーシックですが、企業のパートナーシックですが、企業への当面の課題は、企業へ



間町大好き!!」

ところです。 タートし、四年目を迎えた 間町生活文化女性塾」がス からのお奨めを受けて、「三 いとか話し合っていました。 そして平成五年六月、町

た。 をもっとよく知ろう」と環境・行 政・福祉の問題等を学んできまし ざして考えよう」「三間町のこと 二、学びそして伝える活動 「住みよい町づくりをめ

驚きでもあったようです。 ある意味では発見であり、 まで如何に無関心であったことか。 人問題と、どれをとってみても今 三間町政のこと・ゴミ問題・老 新鮮な

も受け取る側にその意志がなけれ あり、素晴らしいことがなされて そのうち、如何に多くの情報が

味がないとか、提言というより気 づいたことを共に考える場にした

その中で、一年で終る会など意

をもっていました。

て地元で五回ほどの話し合いの場 女性参画の輪」をスローガンにし ックを受け「育てよう、

広げよう

えひめの女性を考える フォーラ 局での「二十一世紀をめざした

五年前のことです。宇和島地方

女性塾の発足

ム」に参加した人達がすごいショ

女性塾のメンバ

感しました。 ともに、「知る」ことの喜びを実 ば何も活かされないということと

しい」「伝えたい」という思いが 次第に高まってきました。 そして多くの人々に「知って欲

と」、「その処理場が五・六年後に 理場を見学した時に、「ゴミの量 鬼北環境センターと是能不燃物処 惑をかけていること」などを知り はパンクすること」、「いい加減な た後再び三間町に送られてくるこ の多さ」、「不燃物は機械処理され ゴミ出しが現場の人達に大変な迷 まず、はじめに環境問題ですが、

ました。

うために、「ゴミのゆくえ」と題

このことをみんなに知ってもら

したリーフレットを町内全戸にお

努力を重ねてきました。 配りしたり、広報「みま」に二ヶ の展示などで住民に知ってもらう 月連続で「ゴミ問題」を掲載して いただいたり、町おこし町民祭で

出さない工夫を」と呼びかけたり して、「家庭でゴミをできるだけ 境を守るため、できることから始 て渡しました。この時「美しい環 せて「ボカシの作り方」のパンフ みました。町民祭での展示に合わ しました。 めませんか」というチラシを作成 レットと三百袋のボカシを用意し そして、ボカシ作りにも取り組

のゴミの実態」を知らせた結果 ではありませんでした。「三間 ルポも行いました。粗大ゴミの有 ワーストワンと思えるほど汚かっ た地区が、これをきっかけにして また、町内不燃物置場のカメラ 分別状態など決して良い状態

是能不燃物処理場の

嬉しい変化もありました。 きれいな花畑に変身させるなど、

まった地区もあります。 アルミ缶のリサイクル運動の始 このようにささやかな私たちの

が初体験でしたが、 えることの広がりを感じました。 予算の仕組等々を学習する中で、 に向けての課題、 す。三間町政の概要と二十一世紀 と期待をかけています。 包装リサイクル法」につながれば つぎに行政について触れてみま への関心と、 会の傍聴は、 一九九七年施行の「容器 定例議会の傍聴 ほとんどの塾生 気づくこと、考 一般質問終了

> えました。 後の感想をストレートに議会に伝

いています。 ら交流の申し出があり、 それを契機に一年生議員さんか 現在も続

ようになりました。 なければならないのか」と考える て「今何ができるのか」「何をし 通して痛感すると共に、町民とし の財政が如何に大変なのか数字を 赤字続きの診療所の問題等々、町 ど赤字になるイベントのあり方や 方について学びました。 等の専門用語や、 そして、人が集まれば集まるほ 最初は、地方交付税や公債比率 一般質問のあり

議員さんに照会することにしまし っていたことを質問形式にして、 今年は、 日頃尋ねてみたいと思

中で、 現状を聞いたり、施設訪問で実際 用 とけこんだ施設として安心して利 の体験をしました。 でき、 高齢化率二七・六%の厳しさの 最後に、 地元の「美沼荘」が地域に 町民一人ひとりの実情に 福祉問題ですが、 III). の

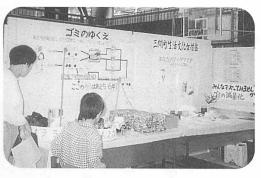
> ことも必要だと感じています。 合ったものになるよう、努力する

ばならないと思っています。 ついても、しっかり勉強しなけれ 今国会で流れた「介護保険」に

# 三、さらなる活動をめざして

しめています。 合い、活動していく充実感をかみ 切さを実感しながら、仲間と語り よく聞き、よく考える」ことの大 な活動を通して、 ささやかではあるけれども地道 何事も「よく見、

精神をもち、 そして、いつまでもチャレンジ 輝いていたい。 三問



まちおこし町民祭展示 「ゴミのゆくえ」

町大好き人間でありたい。

なることだと考えたりしています。 人ひとりが住んでいる町を好きに 「ゴールドプラン」「エンゼル 「住みよい町づくり」とは、一

われる時だと思います。 識した住民一人ひとりの姿勢が問 0 の中で、三間町独自の住民のため 収集計画など、山積された諸計画 器包装リサイクル法」による分別 プラン」「障害者プラン」そして「容 「町づくりは自分達の手で」と意 計画作成と実行にあたっては

残すことにつながればと願いなが ら学んだことを実践する年にした 体での「ゴミ会議」「三世代交流 いと考えています。そして町民全 女子他十一団体が連携をとりなが 婦人会、 団体連絡協議会が誕生しました。 ささやかな私達の活動が、美し 自然と豊かな郷土を次の世代に いイベント」等夢が広がります。 昨年十一月、待望の三間町女性 これからも活動を続けていき 「三間町のよい所発見の楽 交通安全母の会、青年団

たいと思っています。

# エコ・ヴィレッジ「ハッ杉千年の森」三十一世紀をめざすモデル村

## 福井県今立町長

# 若泉征一

「目覚め」から 地域づくりは

私は今、千年先の「三十一世紀 を見据えた町づくり」を提唱して を見据えた町づくり」を提唱して いる。本町の特産である「越前和 いる。本町の特産である「越前和 の越前和紙が現存している)があ ることもさることながら、我が町 ることもさることながら、我が町 ることもさることながら、である でも継承していきたいとの願いか らである。

今日、「何を言っているのだ」と十年先を見透かすことも困難な



でもある。

でもある。

ないの声も聞こえそうだが、これのの一条な方は、地球環境が「一つ」との指摘にもあるように、地る」との指摘にもあるように、地る」との指摘にもあるようだが、これでもある。

からの優れた環境や暮らしを地道法の反省に立って、その地域の昔いわゆる地域おこしの町づくり手いれば、今日までの地域振興策、

るとの考えからである。
に見つめながら、住民自らが再発に見かながら、住民自らが再発

勿論、豪華な施設や大規模開発、 特産物づくりといった、今日まで の開発手法を否定するわけではな い。がしかし、このような施設や 単にモノの創造、あるいは商業主 単にモノの創造、あるいは商業主 がな観光施策などに、住民が飽 き足らなくなっているのも事実で はないだろうか。

人と人との触れ合い、人と自然との共生を通じて、まず地域に住むもの、住民が真の生き方、暮らしの豊かさを実感できなければ、本当の意味での地域おこしや町づ本当の意味での地域おこしや町づる。

## 「結い村構想」町民の手による

では、どうしたら町民が目覚め

み伝 私はその一つのよけ発 てくれるだろうか。

議してくれた。 私はその一つの方策として、平 成四年に町民に呼び掛け、千年先 成四年に町民が集まり、研究会を を職業の町民が集まり、研究会を な職業の町民が集まり、研究会を な職業の町民が集まり、研究会を な職業の町民が集まり、研究会を

べきかを提言している。とした今立像をデザインした「結とした今立像をデザインした「結な規模での現状を直視し、いま私たちは何ができるのか、何をなすたちは何ができるのか、何をなすべきかを提言している。

こうした構想は、言うまでもない。

いことはないと思っている。
町づくりにとって、これ程心強

キャンプで好評のハッ杉自然公園



結いの精神

である。 古来から伝わる麗しい制度のこと い」と言う言葉だが、私の地方に ところで、結い村基本構想の「結

必要とする際、隣近所が互いに助 田植えのような短期間に労働力を 合い、支え合いのこと。例えば、 活に欠かすことの出来ない励まし うだが、日本古来の農耕民族の生 「よい」などとも言われているよ 日本各地では、「ゆいこ」「ゆえ」

け合い、農作業を済ませてしまう

くなろうとしている。 や農業技術の発達等に伴い、 した相互扶助の精神が、次第に無 しかし、戦後の経済構造の変革 肉体的な扶助にとどまらず、精 、こう

神的な扶助は、これからの町づく 何時までも伝えていきたいもので りに欠くことのできない心として

## エコ・ヴィレッジ「ハッ杉千年の森」 未来のモデル村

ジカルな自然と共生するモデル村 想を受けて、隣町との境に位置す る「八ッ杉自然公園」に、エコロ 「八ッ杉千年の森」を建設中であ 本町では今、この結い村基本構

研修施設など、人々が集い・学習 設整備を図っている。 のライフスタイルを取り入れた施 果樹園、 する施設のほか、炭焼き窯や畜舎 や木材加工施設、八角堂の多目的 この村は、木造の宿泊休養施設 野菜畑といった昔ながら

> 浄化に、 用。また、炭焼き窯で焼いた炭(白 処理は、 殺菌剤として使用。施設では、自 液を精製して、水田などの殺虫・ 袋)は、河床に敷き詰め河川水の 活用した合併浄化槽による中水処 電力はソーラーシステム。廃水 畜舎の排出物は堆肥として利 あるいは、炭の煙で木酢 今立独自のバクテリアを

> > 汚い物は外に出さない、自然環境 をコンセプトとしている。 かした「自給自足できるシステム」 を壊さない、自然のサイクルを活 然農法の食べ物を供給したりと、

つは手伝って帰る。知らない者同 花や野菜を栽培したりと、何か やったり、畑に堆肥を撒いたり、 ここを訪れる人は、家畜に餌を 士が、子供も大人も大自然の

郷をめざしている。 守り育てる。このような理想 自然や風土を満喫し、文化を る空間を創造し、素晴らしい よって、人と人との心が漂え て生活する。こうした営みに 中で、一つのファミリーとし

ある。 今年八月オープンする予定で ばらく時間がかかると思うが 施設(八ッ杉千年の森)は、 完全な形になるには、

「目覚め」ていただくことを 三十一世紀のモデル村とし 一人でも多くの方が訪れ



八ッ杉千年の森完成予想図



#### 座誕生

九二年春、町制七〇周年の年に町長が「行政は私が責任を持って実行するが住民も何かやるべき事で町内から元気印四〇数名が集まって、行政(事務局等)と一体になっての地域づくりグループが発足した。

のではない。私達の夢が地域を創り」と名付けた。地域に夢がある夢にこだわり「みらさか夢まつ

るのだ。夢とは……

って語って、そして実現の糸口が輝く為のモノ」これが夢である。とりの宝を見つけ、それをテコにとりの宝を見つけ、それをテコに

体制ができた。名前も丁度その頃

の金を使うため責任者として)の

見えたらすぐに行動しよう…と! 見えたらすぐに行動しよう…と! でんな話の中に「べき論でないりの生活全てを認めよう」「政治や宗教の事は言わない事」等と心や宗教の事は言わない事」等と心や、ながら一緒に活動する感動熱く語りながら一緒に活動する感動をしみながら一緒に活動する感動をしみながら一緒に活動する感動をしみながら一緒に活動する感動をしるながら一緒に活動する感動をしるながら一緒に活動する感動をしている。

であった。
十五年間行政が企画運営してき

住民が企画から参画し、イベントを完成させるプロセスの中で、トを完成させるプロセスの中で、「92みらさか夢まつり」は今、「92みらさか夢まつり」は今、「92みらさか夢まつり」は今、全国でご活躍の三良坂町出身者にスポットを当て生のメッセージをスポットを当て生のメッセージを和いた町づくりシンポと七ヶ国の料理と県北のAET(英語補助教料理と県北のAET(英語補助教料理と県北のAET(英語補助教があるから実行委でこんに・・・・



の参加者があった。
坂とした)を開催して、八〇〇人

心熱くしての反省会で、実行委員長の町長自ら「私は全て責任を 取らなくてはならない立場であり、 取らなくてはならない立場であり、 住民主導の町づくりへの起点であ る夢まつりは住民が実行委員長に なるべきだ」と話され建築設備士 の私が座長、獣医先生が副(サブ でない、仲間を幸福にするラッキ ーマンであるから後で福と変更) 座長、事務局に企画課長(会則も なくこの三名しか名簿はない。町



座が誕生した。 地区の素人芝居がマスコミに載っ 地区の素人芝居がマスコミに載っ

## 我が町素敵発見

る。そしてその全てが今新たに甦自然破壊や集落離散などとマイナ自然破壊や集落離散などとマイナは違うよ、行政住民一体となっては違うよ、行政住民一体となってが、大きな町づくりを目が、大きな町がある。がムは一般的に

切だが川を汚さない、汚い排水を

本の下記されている。この一大プロジェクトを一人でも多くの人に見てもらおう、と開催した生活再建地での「93みらさか夢まつり」は一三、〇〇〇人が参加した。町制七一周年過去最高の人を集めたイベントになった。うまい仕掛けと集なんの努力をすれば、人は皆心熱客への努力をすれば、人は皆心熱なこのでこんなにも集まってくれる。くしてこんなにも集まってくれる。

もに、 考えよう」と開催した深海博では その後、 ○○人の参加者に見てもらった。 深海にただようナイロンを五、○ ビデオをとおして六、〇〇〇mの 7 トラッ のご出身と解り、ご招待するとと 記録を達成した山内さんは三良坂 シンカイ六五〇〇を造り世界最深 未知なる海を調査する深海調査船 七〇%を占める海の話となった。 その水も行きつく所は、地球表面 九四年になりダムの話は川の話 「山の中から深海を地球環境を 日本海洋技術センターから ク一杯の深海の資料を借り 地球環境を論ずる事も人

> 草刈りをするような、人の生き方 を変えていくようなイベントを企 を変えていくようなイベントを企 画していく事にした。近自然工法 等、河川環境の学習により、治水 安全は大事であるが河川の中の命 あるもの全てに優しい環境づくり

のものでない。支流から海に至るの町を流れていても自分の町だけ河川敷の中で開催した。川は自分河には自分の町だけの出逢いの場をつくるため、河にの出逢いの場をつくるため、

までの運命共同体(共有財産)で あり、これは地域づくりをする場合に、三良坂だけ住み良くなればいいのではなく、河川流域全体が それぞれ個性的に面白い地域づく りをしていく事につながるもので、 田舎暮らしの面白さ、幸福感をたっぷり味わうイベントに近隣から 八、〇〇〇人の参加があった。

り」であり、町の人口四、二六〇いる。最大のイベントが「夢まつトを開催し続けて五年目を迎えてトを開催し続けて五年目を迎えて

け続けたい。 るイベントをこれからも仕掛 験は、 ってチャレンジして行こう! けて、近隣市町村が一緒にな きがいを感じる地域実現に向 わいながら、 最高の手段である。県北一体 で語り合う、 くれる。多くの人が出逢い、 人以上の人がいつも参加して 緒に笑い、喜び、 そんな共感が生まれてく 田舎暮らしの幸福感を味 いい人間関係をつくる この共同感動体 住民が誇りと生 酒を飲ん



リレーでちょっトーク

町の印象や住んで良かったと思う

○○→八○○メートルの高原の町し、四国山地に囲まれた、標高四県の中南部上浮穴郡の北西に位置県の中南部上浮穴郡の北西に位置の中南部上浮穴郡の北西に位置

000

000

えてしまいます。でとき、どれだけ町のことを伝えたとき、どれだけ町のことを伝えたとき、どれだけ町のことを伝え

万町へ赴任して来られた方々に、数年前、町の広報誌の中で、久

を語っていただくコーナーがありました。私も以前から、町外からました。私も以前から、町外から来られた方が町のことをどんなイ来られた方が町のことをどんなイまったので、期待しながら読ませていただきました。

その中の一部を紹介してみますと、町の印象については、「緑のと、町の印象については、「活じんまりとまとまった感じ」「活じんまりとまとまった感じ」「活じんまりとまとまった感じ」「活じんまりとした雰囲気が好き」「人情、あたたかさがある」「住「人情、あたたかさがある」「住っんびりとした雰囲気が好き」と、町の印象については、「緑のと、町の印象については、「緑のと、町の印象については、「緑のと、町の印象については、「緑の中の一部を紹介してみますと、町の中の一部を紹介してみますと、町の中の一部を紹介してみますと、町の印象に対している。

側からしか自分の町を見たことの大切さを実感させられるものでれたり、多くの視点から見ることれたり、多くの視点から見ることれたり、多くの視点から見ることの大切さを実感させられるものでした。

中には、厳しい感想もありましたが、それはそれとして素直に受たが、それはそれとして素直に受け出め、良いところばかりではなけ此め、良いところばかりではなろうと思います。

掲載されていた、㈱じょんのび村 協会の今野さんの「じょんのびの を対産に気づくのは難しいもので る財産に気づくのは難しいもので る財産に気づくのは難しいもので な対産に気づくのは難しいもので

す。 くの財産に気付いていないようで 私もまだ、自分の周りにある多

思っています。とを見れるよう、日々生活してさとを見れるよう、日々生活してされるよう、日々生活していきない。

思います。 数日前から、夜になると、家の数日前から、夜になると、家の世代に残していきたいと 情を次の世代に残していきたいと でなりました。この素晴らしい環 になりました。この素晴らしい環

ですか。」

号を送っていただき読んでいると

「キラリ光るまち」のコーナーに



藤原

浩光

窪田

恵子

と誘われ、「インディアカってど

んなスポーツ?」と思いながら仕

職して早四年が経とうとしていま 高校を卒業し、久万町役場へ就

話すことがなかなかできなかった ると、仕事を覚えることはもちろ 番大変だったかなと思い出してみ んだけど、それよりも周りの人と 新採の頃の私にとって、何が一

やってみん?」 りで、仕事以外の話をすることも 周りはみんな私より年上の方ばか ということでした。 やりよるんやけど、恵子ちゃんも あまりなかったように思います。 「インディアカっていうスポーツ 役場内には、同級生がいないし、 そんな時、同じ課の人から、

> 事が終わった後、行ってみること 場の人たちが集まっていました。 そこには、役場の職員や他の職 最初は、初めてのスポーツとい

うになると共に、今まで話したこ 話せるようになっていました。 とのなかった人ともいつの間にか うことで、戸惑っていた私も時間 が経つにつれてなんとか動けるよ そして次の日、いつものように

もいいかもしれませんよ。

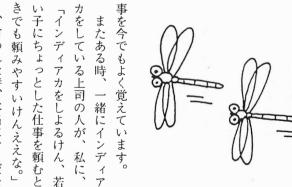
のようにスポーツを始めてみるの

もらったのです。 と、昨日一緒にインディアカをし た人から一人、二人と声を掛けて 仕事をしていると、通りがかりに 「昨日は、お疲れ様」 その時の、とてもうれしかった

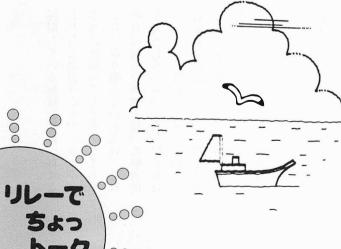
と思いました。 と、言われた時、本当にそうだな

と知り合うということが、仕事に になり、仕事なども頼みやすくな る人に、何でも気軽に聞けるよう なってからは、他の課の知ってい も大切なことなんだなと思いまし ったのを一番に感じました。 そして、スポーツを通じて、人

とで、たくさんの人と知り合うこ 年団に入団して活動しています。 てないと感じるようでしたら、私 とができました。 に参加するようになり、今では青 前から青年団のスポーツ大会など 最後に、新採の方へ もちろん、青年団に入団したこ まだちょっと職場の環境に慣れ



会の少なかった私が、一年ぐらい また、それまで外へ出て行く機 私もインディアカをするように



研究員活動を 振り返って 藤 良 (前研究員)

った。できればもっとここで勉強 そして、「しかたがない」という センターを去る時には「来て良か のが正直な気持ちだった。それが、 での生活に思いを巡らせていた。 何か他人事のような感覚で、松山 センターへの勤務が決まった時、 平成六年二月。まちづくり総合

W氏はにこやかに私たちを迎え入 進めている双海町のW氏を訪ねた。 えかけるユニークなまちづくりを といった安易な気持ちで、夕日を くりという言葉に実感の湧かない 資源として捉え、人間の感性に訴 私は「まだ分からないのが当然」 人〟たちの洗礼を受ける。まちづ

づくりのき ットワーク 研究員のネ の登竜門と まちづくり では、先ず、 かった。 思いもしな とは、当時 に変わろう いう気持ち して、また、 センター

地域で活躍している゛まちづくり それぞれの 地を訪れ、 っかけとし て、県内各 う私の言葉の中に、そうした本質 強不足で良く分かりません」とい が見えておらず、そればかりか面

ちづくりを進めるための原点とな 熱い思いを感じ、自分自身のふる 単にものにすることはできないだ 識や様々なテクニックは、そう簡 が分からん奴は、二年たっても分 る大切なことだと思う。「まだ勉 はない。そしてぞれこ そが、ま たとしても)それ程難しいことで も、また結論が稚拙なものであっ つめ直すことは(結論が出なくて さとへの思いや存在意義などを見 ろうが、『まちづくり人』たちの 私から逃げ場を奪ったのだ。まち その意味が少しは分かる。W氏は 正直多少反感を持ったが、今なら れた。「一ヶ月たってまちづくり れ、そして強烈な先制パンチをく づくりを進めるための専門的な知 からん」。かなり乱暴な言い方で、

全国各地で積極的にまちづくりを を鳴らしてくれたのだろう。 る姿勢があることに、W氏は警鐘 倒くさい所から逃げようとしてい この県内研修を皮切りにして、

> ぞれに強烈な個性を持った魅力的 展開している地域を訪れ、様々な たように思う。 葉をよく耳にするが、そのことを 本当に地域のことを考えてまちづ 人たちと出会うことができたが、 実感できる出会いが、数多くあっ な人たちだった。「まちづくりは くりに取り組んでいる人は、それ 人づくり。自分づくり」という言

り、結成されたCCPT。その新 とを憂い、「なんとかしたい」と 過疎化の波にのまれ、沈滞してい 思いを語ってくれたMさん。一見 切り出し、熱っぽくふるさとへの グループじゃないよ」といきなり 集団(CCPT)は、まちづくり いう思いを一つにした人々が集ま く町、輝きを失くしていくふるさ して頑固そうな顔の中に、青年の 町で「智頭町活性化プロジェクト り交流研修」で訪れた鳥取県智頭 しい拠点となる「地域と科学の出 ように輝く瞳が印象的な人だった。 センターの主催事業「地域づく

らった時は、本当に目からウロコ 会い館」の完成式に参加させても にはあった。 シップ論を実証する光景が、そこ 支えるTさんの説くエディター だ。Mさんとともに、CCPTを くか、活かしていくかが大切なの それをいかに良い方向へ持つてい が、それぞれの輝きを持っており、 ない。大学教授になる必要も、理 何もみんなが建築家になる必要は 深夜まで熱っぽく繰り広げられた。 な人たちが同じ高さで車座になり、 者も、大学教授も、建築家も、様々 に務める若者も、農業を営む高齢 夜は、老若男女を問わず、郵便局 が落ちるような思いがした。その 論武装する必要もない。それぞれ 「地域を科学する」ための討論が、

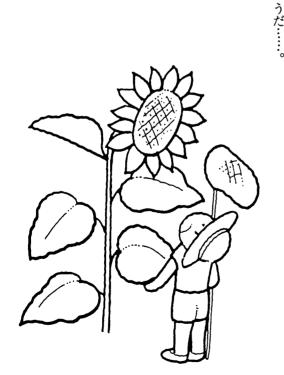
その他にも、鳥取県日南町、大強い印象的なものだった。悩んでいた私にとって、何とも心さとを見直すために、あれこれと

せられた。 Ŕ 特色あるまちづくりを行っていた。 その地域独自の資源を活かした、 たのではないかと、大いに反省さ のまちづくりしか見えていなかっ トを伴わない施設づくりに代表さ 地域づくりを本業とするはずの我 意外にそれが分かってないのが、 市など、訪れた地域それぞれが、 れるような、いわゆる金太郎飴式 々行政マンであり、画一的でソフ て見れば、当り前のことなのだが、 かす手法はそれぞれに違う。考え 分県直入町、三光村、滋賀県長浜 まちづくりという目的は同じで 地域の持つ資源や、それを活

二年間でもあった。一住民としてれは誰しもが認めるところだろう。れは誰しもが認めるところだろう。行政が果たすべき役割も大きい。そのことについて考えさせられたすのことについて考えさせられた。そのことについて考えさせられた。

自分に何ができるかを考えると同自分に何ができるかを考えると同の職場で何ができるのか、何をすべきなのか、ぶるさと宇和島に帰べきなのか、ぶるさと宇和島に帰って自分なりに考え、できることから少しずつ実行していきたいと思っている。「宇和島の良さを見恵すことは、自分自身を見直すことにつながり、また、その逆も言とにつながり、また、その逆も言とにつながり、また、その逆も言える。どにかく自分は宇和島で死のう」これが当面の私のキーワードになりそ

性格の私に仕事における起承転結性格の私に仕事における起承転結性をなアドバイスを下さった地域様々なアドバイスを下さった地域がくり研究会議の運営委員の皆さん、そしてご指導いただいた多くん、そしてご指導いただいた多くんだった。



# 情報誌「舞たうん」

報発信をし続ける「舞たうん」、 が、よりいっそう私のまちづくり うになり、私のフットワークも少 感を刺激したように思う。 り返し拝読する中で、投稿者の地 方が編集された「舞たうん」を繰 で、まちづくり感が理解できるよ 域づくりに賭ける情熱と思い入れ がする。また、客員研究員の先輩 しずつ軽くなっていったような気 地域づくり活動者のネットワー 舞たうん」の編集がきっかけ

れからも、井の中の蛙と呼ばれな

より強まっていくように思う。こ

ふれあいを大切にし、人的ネット いよう、様々な分野の人たちとの

ワークを広げていきたい。

同等になり、人と人との繋がりが を素直に表現しあうことで立場が させられた。

そして、お互いが、自分の主張

が大切だということを改めて感じ

いかに本音の部分を論議できるか に住むリーダーとの交流の中で、

ものだ。 の生の声を私たちに届けてほしい キング誌として、県内・県外に情 いつまでも、地域を生きる元気者

## ブラジル交流事業

とともに、情熱の国ブラジルのス との交流研修に参加する機会をい ふるさと日本を愛し、想い続けて ただいた。地球の裏側に、今でも いる一世、二世の存在に感激する 平成七年の夏、ブラジル日系人

取り組んでいる市町村が多数見受 あっては決してならない。大切な 提携し、地域間交流・国際交流に けられる。しかし、ただの流行で 今日、国内・国外で姉妹都市を 研究員活動を 振り返って まちセン 毅 思う。 だ三ヵ月し を終え、未 しての職務 を懐かしく 県外研修 研究員と

うに思えてならない今日この頃で の事業経験が、遠い昔のことのよ 講演会・地域づくり研究サロン等 ・ブラジル交流事業・草の根文化

県外研修

はじめに

今年の梅雨は、例年より雨量が

自分なりに振り返ってみたい。 ここで、まちセンでの初体験を

ある。

水に悩まされ、私は、まちセン研

ちょうど二年前、松山市民は渇

水不足の心配はないようだ。 も現在一○○%に近くなっており、 多く、松山市石手川ダムの貯水率

> た頃のこと 困惑してい りとは。に 究員として "まちづく

ないが、ま 編集、発行 情報誌「舞 ちセンでの か過ぎてい たうん」の

拡大を目的とした県外研修に行か り論の研鑚、そして、自己視野の 報収集、地域リーダーのまちづく で立案し、まちづくり先進地の情

テーマと計画はすべて自分たち

ケールの大きさに魅了された。

せていただいた。

その地域のまちづくり施策を語

20

るには、現場へ出向き、その地域

とであり、次世代に繋げる草の根 るのではないだろうか。 と思う。その責任は、私たちにあ 交流を持続させなければならない の感性を磨き、創造力を高めるこ のは、異文化にふれることで住民

## 草の根文化講演会

演会を実施した。 りに対する意識向上を図るため講 とおしての感動・苦労話を語って るさとへの熱い思い入れと実践を いただくことで、住民のまちづく まちづくりの実践活動者に、ふ

くりを企画立案していきたい。 会は少ないかもしれないが、チャ りにはなったような気がする。 するぞ!」といった切っ掛けづく 心をひとつにし、「今日から~を 的なものではあるが、地域住民の る気を与えるものであった。単発 に満ちあふれ、参加者に感動とや ンスを逃すことなく、切っ掛けづ さすがに実践者の講演は、自信 今後、こういったことをする機

## 地域づくり研究サロン

だけ難しいものであるか、また、 とに感謝している。 貴重な体験をさせていただいたこ とっては、実践訓練ができ、大変 しているかを痛感させられた。 会議でどれだけ重要な役目を果た かった。そして、司会進行がどれ い一日が長く感じられたことはな 錯誤の連続であった。この時ぐら き出し、まとめればよいのか試行 は、参加者の意見をどのように聞 れだけに気合いは入っていた。 研究員活動最後の事業であり、そ しかし、司会進行を任された私 この研究サロンは、私にとって 人前で話すことの苦手な私に

#### 出逢い

た。 たくさんの人々との出逢いがあっ これらの事業を担当する中で、

ちづくり〟という不可解で、それ て、まちづくりに情熱を賭ける人 たちと出逢い、語り合うことで゛ま 私は、まちセンでの活動を通し

> でいて、どことなく和やかなニュ アンスをもつ言葉の意味を教わっ

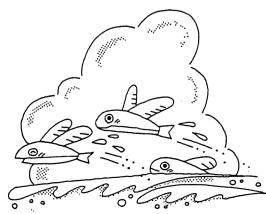
と思う。 何物にもかえがたい財産になった な職種の人たちに出逢えたことは、 農業団体の職員である私にとっ 行政・民間の枠を超え、様々

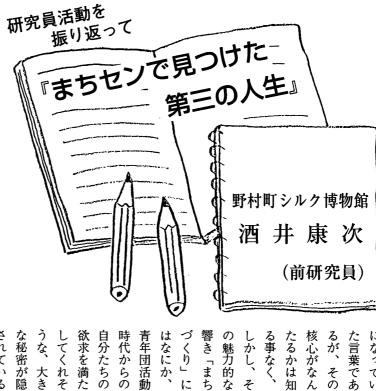
#### 終わりに

を掛けてください。 どこかで逢ったときは、気軽に声 目指し日夜飛び回っている。また、 現在、『夢あるJAづくり』を

皆様、そして、まちづくりに関わ 員の皆様、地域づくり研究会議の センター研究員の皆様、客員研究 長さんをはじめ、まちづくり総合 へんお世話になりました。 して厚くお礼申し上げます。たい るすべての皆様に、誌面をお借り 最後になりましたが、渡邊前所 有難うございました。

たような気がする。





不思議な響き「まちづくり」

った。 総合センターで勤務することとなする中、(財) 愛媛県まちづくりする中、(財) 愛媛県まちづくり 平成七年三月突然の異動で松山

「まちづくり」…流行語のよう

と駆りたてた。そんな期待が気持ちと足を松山へされている、

## 当初には・・・

から宿題がでた。しかし、テーママを探し取り組むように」と早々に来たからには、自分の研究テー

などという立派なものを立てられるはずもなく「これはえらいところに来てしまった」と髪の毛の抜け落ちるほど頭をひねったが、知け落ちるほど頭をひねったが、知け落ちるほど頭をひねったが、知時直りも含めて「おもしろそうな川を面る」事から始め、「色んな人に出合おう」当たって砕けろな人に出合おう」当たって砕けるの精神でやってみるしかないとこう結論に達した。

# 個性的な「まち」や「むら」

一番最初に驚いたのが全国にはり、そこには様々な人々が関わっり、そこには様々な人々が関わっているという事だった。全国の自は数字を調べれば「当たり前だ」と思われるかも知れないが、狭い地域にいるという事はそれさえも考え知る事がなかった。

て頂く機会を得た。すると「まちみて、時には人の考え方を聞かせら、いくつかのまちに触れ、目でをの努力による多くの資料の中かなののでは、過去の研究員の方

報発信活動や、他の地域を真似しだ。確かに中央に向けてのみの情

る事となった。
はの付さ、未熟さを思い知らされた。それらが個性的に町を形でっている事に気づき、自分の認能の付さ、未熟さを思い知らされる。と多くの人々の考えや努力が濃縮と多くの人々の考えや努力が濃縮

## まちをつくるとは・・・

町の進み方が見えてくるというの の文化、現在の人の生活、未来の た地道な活動によって過去の地域 ある人は、休日時間ををかけ地域 分の町をもう一度知る事」だと言 ことができた。活動の最初はなぜ 運び、リーダーの方達に話を伺う 等々、行政にいては訪れる事もな もあり、大分県・宮崎県・長野県 りの先駆者や、県内で頑張られて のマップづくりをした。そういっ 地域へ出向き住民の考えを求め、 われる。ある人は、夜を惜しんで か決まってといっていいほど「自 かったであろう地域に何度か足を いる多くの人や地域に触れる機会 研修で全国的に有名なまちづく

えるようになってきた。 ない迫力と真実味があった。そん られていない活動では及びもつか など、地域や住民の心に目が向け んが、ヒントはこれかな?」と思 な事からも「まちづくりはわから 造してきたかのようなまちづくり てそれをいかにも自分の地域で創

## 熱い魂との出合い

申し訳ない」と考えを新たにさせ させて頂いている。適当な事では をもらってこんな夢のある仕事を 想いを寄せる多くの人々がアイデ 思っていた。しかし、予想は大き くりとは行政が考えるもの」と ている素晴らしさを知る事となる。 数え切れない人々が、町に関わっ られた。県内だけでもそれはもう いこうと努力している様子に「金 アをしぼり、熱い想いを形にして く外れ、元気がある町では、町に 自分はここに来るまで「まちづ

## 終わりに・・・

であったが、自分の一生の中では たった一年間という研究員生活

> 活だった。 今までの人生で最も濃縮された生 った。様々な出合い、学習の機会、 大きなウェイトを占めた時間であ

くる。 こでネットワークが重要になって くか。その行程の中でいかに多く だすことはない。物事の本質にど の素晴らしさを伝えていくか。こ の情報と人を引き込み、その活動 力を引き出し、それを形にしてい う迫り、そのものが持っている魅 受け入れられなければ、町が輝き なに立派な計画でも、その地域に う事だろう。基本が押さえられて るように、基本は住民であるとい 輝き、町が輝く」という言葉があ 今もってはっきりしないが「人が 初めて物事の展開が出来る。どん まちづくりとはどういった事か、

ŋ 流ができた。その人たちすべてが かげで多くのまちづくり人との交 いう事だった。そこに環境・気候 ・人・風土など地域の個性が加わ 「みな自分の町が好きである」と 自分はまちづくりセンターのお 独自のまちづくりが生まれて

いる。

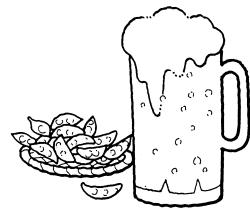
残ったかなあと考えてみても、具 やりとしか見えなかった物事の考 くの人との関わりで、今までぼん いし、してもいない。しかし、多 体的な事は何も思い出されてこな いっぱいである。自分の頭に何が ような気がする。 え方が少しずつはっきりしてきた 今考えると名残惜しい気持ちで

たいと思う。 り、多くの師匠に巡り合う事が出 と。今回様々な人との出合いによ やれる事からコツコツやって行き 元しなくてはいけないと思うし、 の自分の甘さを反省し、地域に還 来た。そして、人のつながりはな 匠、その状況で師匠を見つけよ!」 の師匠、県内での師匠、全国の師 師匠は誰か? 地域に生きる中で る番である。センターに来るまで んと貴いものなのかと気づいた。 今度は地域に帰ってお返しをす あるまちづくり人曰く「自分の

渡邊前所長を始め研究員の方々、 生を切り開く世界を作って頂いた そして最後に、新しい第三の人

> 人々に感謝をし、厚くお礼を申し 全国各地のまちづくりに関係する 地域づくり研究会議の方々、また

どうもありがとうございました。



# 風おこしのちかい

# 地域舞台の

えひめ地域づくり研究会議

事務局長 近藤

誠

ないし、言葉を共通言語にするだけそうだが、地域舞台の裏の裏を知ってしまうと、行政マンとしての自分がもどかしく、恥ずかしく、の自分がもどかしく、恥ずかしく、の自分がもどかしく、いずかしく、の自分がもどかしく

になぜかため息をついてしまう。

こんなことを言うと、「おまえ

あの頃を懐かしく思い、今の仕事遊ばせていただいた私は、今でも、

三年目に研究員として思いっきりり一才若い。まちセンの二年目、

声をあげたのだから、まちセンよ究会議は、この翌年の十一月に産

十年となる。えひめ地域づくり研センターが設立して、この七月で

センター設立十周年

財団法人愛媛県まちづくり総合

は、まちづくり総合センターで何

息をつくのである。と自分を励ましつつ、また、ためけでも相当な時間がかかるのだ」

## ため息のつきはじめ

なくなったのだという。 談もなく指名を受けたらしいのだ。 過ごしていた父。順番で回ってき 心臓をいたわりつつ、のんびりと 父と母の夫婦喧嘩。一体、何事か その時、父は、断固固辞した(本 会の総会に出てみると、事前の相 た地区の世話人を引き受け、自治 ばかりの畑を耕しながら、持病の 送った後、飯米のための田と少し を仰せつかって帰ったとのこと。 とのぞいてみると、父が自治会長 人談)のだが、引き受けざるをえ マスまで溯る。夜分に、何やら、 典型的なサラリーマン生活を ことは平成四年十二月、クリス

祭りのことである。母と私は、毎く、自治会の中身や地域の内情については知るよしもなく、母も病弱なため無理のきく身体ではない。 はなため無理のきく身体ではない。 たちまち頭に浮かんだのは、母も病 たちまち頭に浮かんだのは、母も病

ばれならない。
朝早くから神社に詰めていなけれの舞」の世話をしており、当日は年、秋祭りに巫さんが舞う「浦安

しかし、自治会長になると、家に神輿を迎えて、自治会や神社総に神輿を迎えて、自治会や神社総代、神輿のかき手などの接待をしなければならず、「浦安の舞」どころではなくなるのだ。だからといって、巫さんの世話をする人は他にいない。おまけに我が家にはその頃、生まれて半年になる赤ちゃんが出現して、今では三つになっているが・・・)。「猫の手も借りたいぐらい忙しいときに」というのが私と母の意見。黙って聞いうのが私と母の意見。黙って聞い



15年ぶりに復活させる獅子舞

ちセンで学んだことが、たちまち 中で「?」という感じ。これって を着実にこなしていけばいいか 気付いていなかったのだ。 のだが、地域の実情はもっとすご ことか」などと自分を慰めてみた にしてふっとんでしまった。「う 地域円熟期=停滞期の典型的パタ ら」ということ。言いながら心の しいことはせず、昨年並みのこと 局は、家族の協力体制を約束して ぶしてしまうわけにもいかず、結 いということに、この時はまだ、 アドバイスといえば、「無理に新 件落着。この時、私が父にした ・ンではないのかしら・・・。ま だからと言って、父の面子をつ ケースバイケースとはこの

ホントに自治会長は忙しい

にも過言ではない。 にも過言ではない。

> では、動員要員として自治会 をタイトルの会に、一週間に三回 は掛けていったことがある。聞い でみると、四国地区の会、県主催 でみると、四国地区の会、県主催 るたびに、動員要員として自治会

然の策と考えていたのだから。したの策と考えていたのだから。しれない。私自身、自分の担当分しれない。私自身、自分の担当分しれない。私自身、自分の担当分しれない。私自身、自分の担当分した。



秋祭りに神社に奉納する「浦安の舞」

くるのである。とない、色々な課が個別に行ない、かし、色々な課が個別に行ない、かし、色々な課が個別に行ない、

いのだ。 常に把握していなければならない 人として、 員をかけなければ人が来ないよう 自治会長が、ほとんど地域にいな ているのかもしれないが、地域を は、勉強になるからと親切に思っ が多く、 な事業を行っている行政マンの一 いというのもどうであろうか。動 ってくるのである。声をかける方 しれないが、本当に同じような会 これは少しオーバーな表現かも 常に、 もどかしく、恥ずかし 同じ人に声がかか

うことは割合に多いのである。 自治会長ぐらい頼みやすいものは ない。どのテーマにも当てはめる ない。どのテーマにも当てはめる たが、婦人会や青年団、老人クラブ が、婦人会や青年団、老人クラブ が、婦人会や青年団、老人クラブ が、婦人会や青年団、老人クラブ が、婦人会や青年団、老人クラブ

ほうがよい。手枷、足枷は、できるだけ少ないの講習や勉強で留めるべきなのだ。の講習や勉強で留めるべきなのだ。

も出掛けて行くのだ。 であれば情報を集めるし、 かに息づいているのである。必要 たまらなく嫌だった。 を展開している側にいる自分が や人を無視し、一方的な行政施策 の忙しさも。この時、 た。そして、それぞれの役員さん だったが、それ以上のものがあっ 治会長を通して知っているつもり 地域の忙しさというのは、 昨年一年間、公民館で勤務した。 地域の実情 地域は、 勉強に 父の自 碓

然なのだから。 に格差があり、違いがあるのは当に格差があり、違いがあるのは当に格差があり、違いがあるのは当に格差があり、違いがあるのは当に格差があり、違いがあるのは当になって、全体を考える必要はそ

今、改めて思うのである。
て、この研究会議ができたのだと、
ーができ、そのネットワークとし
はとして、まちづくり総合センタ

#### 媛のくにフラッシュ

『マリンパーク 新居浜。

新居浜市

研修室

十~三月

八時半

四~九月

八時半~

t

八月のみ八時~十九時

日本のエー ゲ海と言われる瀬戸

内海に、公共のマリーナとしては が四月一日オープンしました。 四国最大級のマリンパーク新居浜 新たなマリンレジャーを創造す

(問合せ先)

ります。 あなたも! この夏のご来場をお待ちしてお

る魅力いっぱいの当施設。是非

#### 〈主な施設〉

· 船艇保管施設 三八一隻

・上下架等サービス施設

・レストラン ·大、中、小研修室

·人工海浜 長さ三〇〇メートル

・海水浴 〈開場時間〉

#### 十七時 十八時半

紹介します。 の新名所「水満田古墳公園」をご 古代ロマンを体感できる砥部町 〈休場日〉

レストラン

十一時半~二十一

九時~二十

一時

火曜日(祝日の場合は翌日

年末年始(十二月二十九日~

一月三日

あり、今回この古墳を中心に古代 の建物を再現しました。 といわれている二十二基の古墳が 公園内には古墳時代に作られた

☎○八九七一四六一四一〇○

マリンパーク新居浜

#### 〈主な施設〉

(1)はにわ窯

実際に窯を使って「はにわ」を焼 成します。 を焼いた窯を再現。年に二回程度 県内でもめずらしい「はにわ」

### (3)竪穴住居

しに見ることができます。

古墳内部の状態を透明ガラス越

(2) 二号古墳

実際に使用することができるか

## 砥部町の新名所

『水満田 古墳公園。

(4)物見やぐら

村を敵から

います。

まとを備えて

でも自由にご覧いただけます。 張りやぐらのことで今回は六本柱 守るため太い柱を立てて造った見 史学習や体験の場として、どなた 整備しています。ハイキングや歴 で高さ九mのものを再現しました。 〈問合せ先〉 このほか高床式倉庫や石棺等も 低部町教育委員会社会教育課

☎○八九一九六二一四八二○







晴れ晴れと 内子フレッシュバ・ 『からり』 -プン 

生産者の顔が分かると信頼を得て

名を記して販売し、消費者からは

を使ったシャーベット、アイスク

います。また、内子町のフルー

畳の大部屋が二室ずつ、またビデ

オ設備の整った研修室等利用者の 人数と目的に応じた、貸部屋が用

小部屋、

二階は、家族連れには四畳半の グループ、団体には十五

内子町の特産物を一堂に集中展示 情報をパンフレットやインターネ る特産物直売所、内子町の観光、 ットなど最新の情報メディアで提 国道五六号と国道三七九号が交 直接消費者の皆様にお届けす 小田川と中山川の合流点に、 特産物など地域資源

所では、 産物に生産者 りの新鮮な農 特産物直売 朝取

> 内子町インターネットWWWホームページ ko/uchiko@dokidoki.or.jp http://www.webcity.co.jp/mi/uchi リームも好評を得ています。 〈問合せ先〉 〈営業時間〉 年中無休 内子フレッシュパークからり 午前九時~午後六時 FAX通信 パソコン通信 四四-五二九〇(1D GUEST) FAX 〇八九三-四四-五八三八 ☎○八九三一四三一一一二 四四一五二九一



楽里」、香り(ハーブ)を楽しむ「香

を楽しむ「果楽里」、花を楽しむ「花

供する総合案内所が完成しました。

緑の中にあります。

開館以来多数

建設され、清らかな渓谷と美しい れている、鈍川温泉郷の玄関口に

当せせらぎ館は、昔から親しま

の入浴客が利用し、五十三日目に

五万人を突破しました。

施設の名称「からり」は、果実

楽里」、そして「カラリ」と晴れ晴

れとした出会いを意味しています。

#### 清らかな渓谷に 『鈍川せせらぎ 交流館』

意されています。

ぜひ一度ご来館下さい。

化を目的として、今年三月二十二 れあい、健康増進、 プンしました。 日「鈍川せせらぎ交流館」はオー 本町を訪れる人々との交流とふ 更に町の活性

ることができます。他に、軽食コ 露天風呂等多彩なお風呂があり、 の他にジャグジー、サウナ、源泉 と名付けられた浴室には、 日頃の体の疲れをリフレッシュす ナー、休憩コーナーがあります 施設の一階、「玉の湯」「川の湯 主浴槽

まれたいで湯の皿 Ξ. Ħſ

〈休館日〉 (問合せ先) (営業時間) ☎○八九八一五五一四四七七 鈍川せせらぎ交流館 毎月第二・ 午前十時半~ 一月一日、 十二月三十一日 四月曜日 午後九時



媛のくにフラッシュ

#### 町観光の夢を乗せて 「ユメカイナ」 就航

兀  $\mathbf{H}$ 海

を進め、 いく計画です。 の核として、 町では、この新鋭船を観光事業 観光西海の復興を図って 更に関連施設の整備

#### 〈運行時間〉

利用の際にはお問い合せ下さい。 〈問合せ先〉 シーズンにより異なりますので

と公園の高台にあり、

前方には、

一世代交流広場は、緑の

ふるさ

きたいと思います。

間として育てるためにも、

三世代

もたちを優しく思いやりのある人

そして、二十一世紀を担う子ど

の交流の場として活用していただ

四月二十日に就航した「ユメカ

は、

全長十七・三メートル

西海町産業観光課 ☎○八九五一八二一一一一一

できます。

内海や来島大橋(建設中)が展望

今治市街や晴天の折りには、

瀬戸

0 - 1 -

べるものが数多くあります。 の便にも恵まれ、 ており、 園の一角にある児童公園と連結し たちの歓声がこだましています。 れ緑を満喫するなど一日中子ども 連れや三世代で訪れ、 イ・サービスを利用している高齢 さらにここは、 また、三世代交流センターでデ 四月七日のオープン以来、親子 滑り台など幼児でも楽しく遊 広域農道から二分と交通 筏乗り、 緑のふるさと公 水とたわむ 水車遊

ガイヤナの四倍近いスピードです。 ドを出すことができます。これは となり、

時速四十キロ近いスピー

ことができます。

移動中は展望室が上がって双胴

11

同様立体的に水中の景観を楽しむ

水中観光の際は展望室が海面下約 観光船としては世界初の構造です。 中央部の展望室が上下することで ることができます。最大の特徴は 名で、うち展望室には四十八名入 九トンの双胴船です。定員は七十 全幅五・六メートル、総トン数十

一メートルまで下がり、ガイヤナ

朝倉村の福祉の拠点 「三世代交流センター 及び交流広場」

リアス式海岸独特の景観を楽しん

周するコースも設定しており、

でいただけます。

けでなく、鹿島の海蝕洞や鹿島を

この速度を活かし、

海中公園だ

オープン

ています。

過ごし、心身共にリフレッシュし

〈問合せ先〉 ☎○八九八一五六一三五五○ 朝倉村三世代交流センター

だりして、 外へ出て一緒にお話をしたり遊ん 優しいエールを送ったり、時には 者も広場で遊ぶ子どもたちを見て のんびりとした一時を

#### 愛媛県から"組織改正"のお知らせ

愛媛県では、「生活文化県政 新プラン21」の具体化に取り組むため、主要事業に対応できる 組織を整備する観点から、実質的な仕事のできる体制とすることに重点を置き、平成8年4月1 日付けの組織改正を行いました。組織改正の主な事項は、次のとおりです。

改正事項	改 正 内 容
生涯学習課「中核美術館係」 の設置	中核美術館の開館に向けて、施設整備及び美術作品収集等の準備を進めるため、 生涯学習課に専任の課長補佐を配置するとともに、「中核美術館係」を設置し ました。
交通消防課「防災航空事務 所」の設置	本県防災対策の充実強化の一環として、新たにヘリコプターを導入して消防防 災活動等を行うため、松山空港内に「防災航空事務所」を設置するとともに、「消 防防災航空隊」を配置しました。 また、防災情報業務の高度化に対応して、交通消防課無線係を「防災情報係」に、 防災係を「防災企画係」に改称しました。
地域医療課「地域保健係」 の設置及び看護婦養成所開 設準備担当職員の配置	地域保健法の施行に伴う保健所の組織・業務等の見直しや市町村に対する支援 策の検討など、新しい地域保健体制の整備を推進するため、地域医療課に「地 域保健係」を設置しました。 また、平成9年4月、伊予三島市に設置する県立看護婦養成所の開設準備を進 めるため、地域医療課に教員予定者を開設準備担当職員として配置しました。
企業振興課及び経営指導課 の係の改編	スーパーテクノゾーン構想及び第2期テクノポリス計画の推進など、産業計画業務の増大に対応して、企業振興課計画振興係を計画部門を担当する「経済計画係」及び事業部門を担当する「経済振興係」に分割しました。また、中小企業の経営診断体制の効率化を図るため、経営指導課商業診断係及び工業診断係を統合し「中小企業診断係」としました。
都市整備課「こどもの城建 設係」の設置	えひめこどもの城(仮称)の建設に当たって、土木工事を一貫して執行する体 制を整備するため、都市整備課に「こどもの城建設係」を設置しました。

#### 情報誌「わいわいわいど」の発行について

地域づくり団体全国協議会(事務局一)関地域活性化センター内)では、全国の地域づくり団体の皆さんが自分たちの活動状況、研究成果の発表、イベント・特産品等の紹介、協力依頼、お問い合わせ等、自由につづる情報誌を平成8年度から新たに発行することとなり、現在、その原稿が募集されております。

つきましては、「舞たうん」をお読みの地域づくり団体の皆様に対してこの情報誌を紹介しますとともに、 全国の関係団体との情報交換に向けて、奮って、原稿を応募されますようお願いいたします。

#### 1 企画・構成

紙面 (1)「こんなことやってるコーナー」

- ア 私たちの地域づくり活動 イ 勉強しましたこんなことを
- ウ 私たちと意見交換しませんか
- (2)「掲示板コーナー」
- ア イベントの呼びかけ イ 協力依頼
- ウ お問い合わせ
- (3) 「PRコーナー」
- ・まちじまん・むらじまん ・特産品ア・ラ・カルト等
- (4)「報道されたわがまち・わがむら、わたしたち」
- (5)イベントスケジュール等

#### 2 平成8年度の今後の発行月

10月及び1月(原稿の締切りは、8月31日及び11月30日)

#### 3 本件に関するお問い合わせ、原稿の送付先

- ㈱地域活性化センター 研修交流課(飯鳥・渋谷)

〒103 東京都中央区日本橋 2 - 3 - 4 日本橋プラザビル13F

□ **☎**03-5202-6135 FAX03-5202-0755

#### お知らせ(慰愛媛県市町村振興協会)

#### 市町村振興(サマージャンボ) 宝くじが 1 枚300円で発売されます。

★発売期間 平成8年8月20日(火) ~9月6日(金)

★抽 選 日 平成8年9月20日金

1 等6,000万円が264本 前後賞を合わせると1億3,000万円 という豪華版!

そのほかに、ラッキーレジャー賞100万円が4,400本あたります。

待ちに待った夏本番ー に一度の「オリンピック」とイ 高校野球、夏祭り、そして四年 内容についての記事など 発行/平成八年七月十五日 、ントが盛り沢山! キャンプ、マリンスポーツ、 うっとうしい梅雨が明けると 舞たうん」編集係まで || 一般変媛県まちづくり TEL 089 (932) 7750 内容についてのご意見や活動 財愛媛県市町村振興協会 「ドキドキわくわく」今年の 089 (932) 7760 松山市三番町八丁目 財愛媛県まちづくり 愛媛県生活保健ビル三階 総合センター